

SWG活動の進め方について(案)

2013年2月14日
ジャパン・クラウド・コンソーシアム
M2M・ビッグデータWG

SWGの具体的な活動(案)

具体的な活動(案)

WGの中で、参加希望する企業を中心に本活動を実施(強制するものではない)

- ① 具体化活動に賛同してくれる自治体の参加要請を行う(場としての提供要請)
- ② 現在公開されている情報を中心に蓄積し、WGの中でテーマ別の“出口”を実施

官庁・自治体ですでに公開されている情報および新規に公開してもらう情報と、民間(個人含む)で公開されている情報を中心にしたデータベースを構築し、その上に、参加企業でアイデアを出して新たなサービスを創出していく

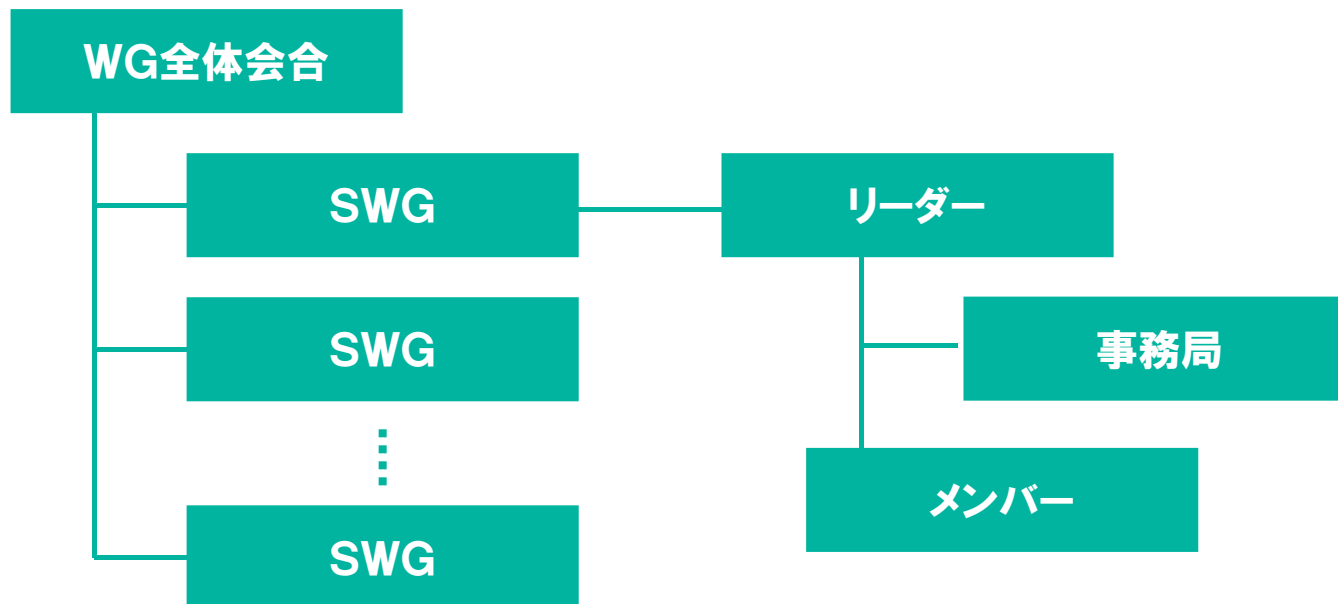
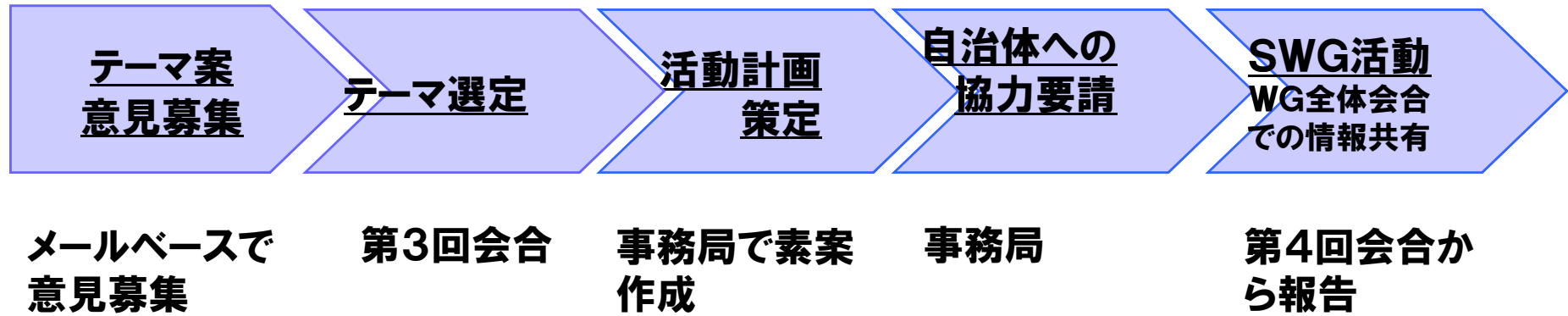
具体的な活動の中から、情報の形式、過不足、精度等々の問題を認識し、今後の課題を抽出していく

SWG活動テーマ案

【SWG1】人口分布別施設設置(稼動)状況分析

【SWG2】災害・事故発生の予兆検知と安心安全な街づくりの条件等の抽出

SWG活動の進め方(案)



体制・役割案

体制・役割		
役割	内容	参加を期待するメンバー
リーダー	SWG全体の活動を運営・統括する、活動全体の考察・提言をまとめる	事務局より1名 WGより2名～3名
役割②	データ項目整理ならびに分析作業を実施する	WGより4名～5名
役割③	自治体への説明・協力の依頼と折衝・調整を実施する	WGより3名～4名
役割④	環境準備等のビックデータ環境を準備する	WGより2名～3名 ※技術的な面でのメンバーの制約あり

※役割③ないし④は他のSWGと共同で担当体制を構築するか？

スケジュール案

